

# JB Customer Report

カスタマーレポート

ORPHIS GD

岐阜県内で、実際に機械をご導入いただいたお客様の「生の声」をご紹介します！

取材：営業部 営業企画推進課

## めぐみの農業協同組合 様

めぐみの農業協同組合の総務課 課次長 上野様に2019年3月に導入したORPHIS GD7330についてお話を伺いました。

### 印刷ボトルネックの解消!?

当JAでは、8部署、20の課・各支店事業所で構成された組織であり、部署ごとでそれぞれ印刷用途が異なりますが、JAのイベント時はそれぞれの部署でチラシ作成し印刷まで行っています。今までは各部署で所有するプリンター・コピー機などで印刷を行ったり、枚数が多い場合はJA内共有使用の印刷機で印刷を行っていました。通常業務と並行しながらチラシ印刷を行う必要があり各部署でのプリンター・コピー機などは印刷渋滞を起こし、共有の印刷機を使用するときも他部署と重なるケースが多く、チラシ印刷作業に非常に時間と労力を費やしていました。

そんな中、でコピー機のような簡単操作で、かつ印刷機以上のスピードで印刷できる画期的なプリンターがあるとジムブレンさんから紹介して頂き、高速カラーインクジェットプリンターORPHISの存在を初めて知りました。試験運用のために繁忙期にデモ機材を約1ヵ月お借りして職員の作業負担が大幅に削減できると確信し、ORPHISの導入をきめましたね。

導入後は圧倒的なスピードで、イベントチラシ・キャンペーンチラシなどが簡単につくれていますよ。PCからデータを飛ばすだけであっという間に印刷が終わりますからね。特に驚いたのはカラー出力時の印刷スピード、両面印刷時の印刷スピードがまったく変わらないという所ですね。当JAは、多数の職員がORPHISを使用する為、処理スピードの早さには大変助かっていますよ。かわるがわる職員が印刷をしにきていますが、現在進行中の印刷ジョブは画面上に残り印刷時間が表示されますので、職員は計画的に作業出来、印刷渋滞もかなり削減されましたね。

### 見やすい資料作りに一役を買おう!?

JA内での会議資料や、組合員様向けの資料・チラシなど、ページ数・作成部数が多い資料を作ることが多くあります。ORPHIS導入前では、資料作りの際にカラー印刷は高い為、暗黙のルールでモノクロ印刷をすることが習慣付いていました。会議資料などはページ数・文字数が非常に多いためモノクロでは要点がなかなか伝わりにくかったのですが、ORPHISを導入してからはカラー印刷＝高いという概念がなくなり、資料にワンポイントカラーやグラフのカラー化など資料をもらう相手がよりわかりやすい資料を作ること意識するようになりましたね。フルカラー印刷が1.44円ですから、レーザーコピー機で印刷するのと比較しても格段に安いですからね。

当JAではORPHISは3代目(1代目:Xシリーズ、2代目:EXシリーズ)の機種ですが導入当初から後処理機能を強化するオプション(フィニッシャー)を導入しています。話の通り資料作成業務が多いため、人海戦術の資料作成解消するために後処理フィニッシャーはフル活用しています。標準機能で資料にページ・日付を入れて、フィニッシャーの機能でステープル留め(最大100枚)、またパンチ穴も開けた資料を作るなどして活用している職員は多いようですよ。今では印刷ジョブの6~7割がフィニッシャーを使用しているため、ORPHIS導入前の環境が職員の負担になっているか物語ってますね。使う職員が多いとそれだけ機械に負荷がかかりますが、現行機は1千万枚の耐久性をもっている点でも、ORPHISはJAの使い方に非常にマッチした機械だと思えますね。



### 営業担当者の声



営業担当：杉山 公宏

ORPHISXシリーズ・EXシリーズとご使用頂き、今回さらに安定した稼働が可能なGDシリーズがお客様のお役に立っている事が大変嬉しく思います。

これからもお客様の一手間を省き、さらに快適な印刷環境をお届け致します。